

令和2年度 大場地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

包括への相談件数は年々増加しており認知症と虐待については特に多く相談が寄せられる。しかし認知症の方の子供世代（40～60代）には認知症についての基礎知識や包括の情報が浸透しておらず、今後も周知活動に取り組む必要がある。一方、認知症になっても参加できる地域活動や団体が増えてきており、そのサポートにも取り組んでいく。虐待に関しては関係機関同士の連携をより深め、素早い対応や事実確認、未然防止を含めた介護者支援を引き続き行っていく。こういった複雑化している相談が増える中で地域に対し身近な相談窓口としてケアプラザの周知に引き続き努めていく必要がある。障害については関わりが持てずにいるため関係機関と連携を図っていく。また体力チェックや認知症などの地域の担い手となるサポーター養成講座を行っているが、そのサポーターが主体となって活動している場は少ない現状にあるため、ケアプラザ以外での活躍の場が必要であると思われる。今後は認知症や虐待を含め、困ったときに相談できる場や人がいることで、『助けてと言ひ合える自分にも他人にも優しいまちづくり』を目指す。そのために地域の代表が集まる場に出向き、地域の現状を職員間で共有し、地域の担い手としても活躍できるような場づくりを共にできるよう働きかけていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	引き続き認知症サポーター養成講座を年4回以上開催していく。また、家族を介護している世代にも認知症の知識が浸透するよう、認知症の方と家族が共に足を運べる場として認知症カフェなどを活用する。
<input type="checkbox"/>	■	年に1回以上、虐待についての勉強会を担当エリア内のケアマネジャーと行き、未然防止の視点も含めいち早く危険を察知できるよう体制をつくっていく。また、養護者に対しては、介護者の集いや認知症カフェ、介護保険利用等、介護負担軽減に繋がる取り組みやサービスを周知する。
<input type="checkbox"/>	■	出張講座の企画を年に2回以上行い、地域の集まりには月1回以上参加し、ケアプラザの周知活動を行う。
<input type="checkbox"/>	■	障害者の支援を行う「ほっぷ」と共催にて個別相談会を開催したり、発達障害に関連した認知症講座等の開催に取り組むなど、障害者支援事業を通して専門機関と関係を構築する。
<input type="checkbox"/>	■	地域課題を分析し、必要な担い手を増やす取組をおこないつつ、サポーターが活躍できる地域に根差した場づくりを行う。
<input type="checkbox"/>	■	活動状況チェックシートを作成し、必要な情報を継続的に把握できるようにし、データとして可視化する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

総括：今年度は新型コロナウイルスの流行により事業が自粛・中止され例年通りの活動を行えなかったことや職員の交代があったことで、新たな取り組み方の検討が必要であったり一つの業務を改めて確認する1年であった。そんな中で今年度は広報誌で新型コロナウイルス予防や対策、ロコモティブシンドローム予防のために作成した動画を紹介したり、包括エリアでスタートしたサービスBに対する支援、リモート認知症カフェ応援事業への参加等に新しく取り組むことができた。動画や支給されたタブレット端末の活用については今後も引き続き検討していく。またこれまで事業に参加していたサポーター（認知症、体力チェック、ポッチャ）に対し、事業が再開できていない状況でも電話連絡をしたり顔合わせの機会を設けたりすることで繋がりが途切れないような工夫を行った。元気づくりステーションや地域の集まりが場所の問題で休止状態だったが、皆で話し合い、大場CPで開催することになった。フレイル予防、地域のボランティアグループの支援につなげることが出来た。地域のケアマネ支援は区内の包括と協働しながらzoomのサロンや少人数で参加できる内容の研修会、交流会を開催した。コロナ禍だがケアマネ同士の横の繋がりが途絶えないことを最優先した。

## □ 区からのコメント

- ・大場エリアは、毎年数多くの認知症サポーター養成講座を開催してくださっています。コロナ禍で感染予防対策を講じて2回実施するのは大変だったと思います。
- ・継続的に介護者の集いを開催していただいていることで、新しい参加者にも声をかけやすく、貴重な養護者支援の場になっています。
- ・次年度は新しくできる認知症のリーフレットを活用しながら、認知症サポーター養成講座の開催を地域に働きかけていけると良いと思います。
- ・広報については、このような時勢だからこそ求められている情報があったと思います。youtubeによる発信は良い取組だと思います。
- ・把握したニーズから、“いつでも細かな情報提供ができるように”という取組は素晴らしいと思います。新たなツールによる、5職種間での情報共有と展開に期待しています。
- ・新規サービスB団体については、団体が初めての事業を、かつコロナによる自粛をしながらも、対象者の個別支援ができるまでに安定した運営をできるようになったのは、CPのご支援が大きかったと思います。
- ・軌道に乗ってきたので、今後は会の運営については手を離しながら、対象者の把握支援を中心をお願いします。
- ・今年度は民生委員とケアマネジャーとの交流の機会の設定が困難な状況でした。次年度も大人数で集まる機会は難しい状況ですが、ケアマネと地域をつなぐ支援の取り組みの工夫を期待しています。
- ・地域にインフォーマルサービスが充実しても、インフォーマルサービスとケースをつなぐケアマネジメントができていないと意味がありません。そう考えると介護予防従事者研修はとても重要だと思います。また、研修という形だけでなく、サービス担当者会議やその他の場面でのケアマネジャー支援が必要だと思います。大変だと思いますが、次年度も引き続き取り組んでいただきたいと思います。
- ・広報については、このような時勢だからこそ求められている情報があったと思います。次年度は止めずにできる方法を検討いただきたいと思います。youtubeによる発信は良いお取組だと思います。
- ・地域づくりは地域の住民と一緒に進めていくことが目指すべき方向だと思います。ケアプラザが感じている課題や取組を、地域と共に進めていけるよう地区サポートチーム会議や推進会議、地域福祉保健計画を5職種で積極的に活用してください。

# 令和2年度大場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重し適切な対応を行います。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めます。定期的な研修、会議への参加、ヒヤリハットの活用、他機関、事業所での事故事例などを通して情報の共有、注意喚起と事故防止に努めます。実際の個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底します。
実績	公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向け業務運営にあたりました。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重した対応に努めました。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めました。定期的な研修への参加、会議などを通してヒヤリハット、他機関、事業所での事故事例などを共有し、注意喚起と事故防止に努めました。個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底しました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が継続できるよう支援します。	要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるようサービスを提供します。
職員体制	保健師1名、看護師1名 主任ケアマネジャー1名 社会福祉士1名	管理者(主任介護支援専門員) 1名 介護支援専門員 3名
契約者数	192名	119名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	地域に信頼されるケアプラザ	地域に信頼されるケアプラザ	
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35名	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12名	【実施日数】  【提供時間】  【定員】

利用 料金 ・ 費 負 担	要支援1:17,741円 要支援2:36,372円 要介護1:6,946円 要介護2:8,200円 要介護3:9,508円 要介護4:10,805円 要介護5:12,113円 【実費】食費:750円	要介護1:10,760円 要介護2:11,935円 要介護3:13,099円 要介護4:14,274円 要介護5:15,449円 【実費】食費:750円	
職員 体 制	管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:7名 介護職:27名 機能訓練指導員:7名	管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:7名 介護職:27名 機能訓練指導員:7名	
契約 者 数 等	【延べ利用者数】6,485人 【契約者数】70名	【延べ利用者数】2,044人 【契約者数】19名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,109,689		15,109,689	13,012,590	2,097,099	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	59,900	△ 59,900	
雑入	2,591,161	0	2,591,161	54,781	2,536,380	
印刷代			0	3,560	△ 3,560	
自動販売機手数料			0	42,821	△ 42,821	
その他	2,591,161		2,591,161	8,400	2,582,761	
その他	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
収入合計	21,690,850	0	21,690,850	13,127,271	8,563,579	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	9,443,890	2,541,537	
本俸	7,882,448		7,882,448	7,706,881	175,567	
社会保険料	1,717,271		1,717,271	779,964	937,307	
手当計	1,937,270		1,937,270	702,851	1,234,419	
健康診断費	180,000		180,000	76,005	103,995	
勤労者福祉共済掛金	96,000		96,000	5,751	90,249	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	172,438		172,438	172,438	0	
その他			0		0	
事務費	1,055,000	0	1,055,000	1,740,010	△ 685,010	
旅費	28,300		28,300	7,277	21,023	
消耗品費	100,192		100,192	191,211	△ 91,019	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	100,000		100,000	105,384	△ 5,384	
通信費	146,260		146,260	342,464	△ 196,204	
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	8,400	△ 8,400	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	53,961		53,961	42,598	11,363	
職員等研修費			0	628	△ 628	
振込手数料			0	39,604	△ 39,604	
リース料	265,401		265,401	291,484	△ 26,083	
手数料	290,886		290,886	366,417	△ 75,531	
地域協力費	70,000		70,000	138,502	△ 68,502	
その他			0	206,041	△ 206,041	
事業費	1,912,000	0	1,912,000	80,061	1,831,939	
運営協議会経費	42,000		42,000	5,831	36,169	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,870,000		1,870,000	74,230	1,795,770	
その他			0		0	
管理費	5,305,589	0	5,305,589	5,682,993	△ 377,404	
光熱水費	2,366,977		2,366,977	2,678,357	△ 311,380	
清掃費	1,860,304		1,860,304	1,860,304	0	
機械警備費	124,824		124,824	124,824	0	
設備保全費	731,222	0	731,222	731,222	0	
空調衛生設備保守	569,369		569,369	569,369	0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	72,267		72,267	72,267	0	
害虫駆除清掃保守	39,816		39,816	39,816	0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	49,770		49,770	49,770	0	
共益費	222,262		222,262	288,286	△ 66,024	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	228,591	245,409	予算：指定額
公租公課	958,834	0	958,834	945,734	13,100	
事業所税			0		0	
消費税	958,834		958,834	944,389	14,445	
印紙税			0	1,345	△ 1,345	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,690,850	0	21,690,850	18,121,279	3,569,571	
差引	0	0	0	△ 4,994,008	4,994,008	

自主事業費 収入	0	0	0	59,900	△ 59,900	
自主事業費 支出	1,870,000	0	1,870,000	74,230	1,795,770	
自主事業 収支	△ 1,870,000	0	△ 1,870,000	△ 14,330	745,767	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	42,821	△ 42,821	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	34,421	112,395	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	28,939,940		28,939,940	28,664,700	275,240	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,780,393		1,780,393	
雑入	0	0	0	57	△ 57	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	57	△ 57	
その他	1,780,393		1,780,393		1,780,393	
収入合計	36,669,333	0	36,669,333	34,613,757	2,055,576	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,956,293	0	32,956,293	32,639,099	317,194	
本俸	23,400,500		23,400,500	24,448,486	△ 1,047,986	
社会保険料	4,310,228		4,310,228	4,394,595	△ 84,367	
手当計	4,578,557		4,578,557	2,989,494	1,589,063	
健康診断費	55,195		55,195	55,213	△ 18	
勤労者福祉共済掛金	27,750		27,750	33,749	△ 5,999	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	584,063		584,063	717,562	△ 133,499	
その他	0		0	0	0	
事務費	320,000	0	320,000	1,152,272	△ 832,272	
旅費	10,000		10,000	10,306	△ 306	
消耗品費	30,000		30,000	52,096	△ 22,096	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費	56,000		56,000	105,384	△ 49,384	
通信費	76,850		76,850	309,081	△ 232,231	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	42,603	△ 37,603	
職員等研修費	9,400		9,400	12,362	△ 2,962	
振込手数料			0	39,604	△ 39,604	
リース料	100,000		100,000	43,441	56,559	
手数料	20,000		20,000	231,282	△ 211,282	
地域協力費	12,750		12,750	13,750	△ 1,000	
その他			0	292,363	△ 292,363	
事業費	1,914,000	0	1,914,000	584,041	1,329,959	
協力医	630,000		630,000	420,000	210,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	815,000		815,000	0	815,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	142,968	11,032	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	21,073	293,927	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,353,040	0	1,353,040	1,510,721	△ 157,681	
光熱水費	571,894		571,894	711,968	△ 140,074	
清掃費	494,510		494,510	494,510	0	
機械警備費	33,180		33,180	33,180	0	
設備保全費	194,374	0	194,374	194,374	0	
空調衛生設備保守	151,351		151,351	151,351	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	19,209		19,209	19,209	0	
害虫駆除清掃保守	10,584		10,584	10,584	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	13,230		13,230	13,230	0	
共益費	59,082		59,082	76,689	△ 17,607	
その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	60,760	65,240	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	36,669,333	0	36,669,333	35,946,893	722,440	
差引	0	0	0	△ 1,333,136	1,333,136	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,284,000	0	1,284,000	164,041	1,119,959	
自主事業 収支	△ 1,284,000	0	△ 1,284,000	△ 164,041	△ 1,119,959	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市大場地域ケアプラザ

R2 年4月1日~ R3 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,031	5,592	439	6,031	5,372	659	21,671	24,055	-2,384	72,428	56,632	15,796	4,380	3,203	1,177	33,582	30,507	3,075
	その他	0	0	0	0	348	-348	970	1,269	-299	5,750	4,605	1,145	648	460	188	1,686	1,543	143
	事業-負担金収入			0			0			0			0			0			0
	認定調査委託料			0			0	475	209	266			0			0			0
	原案作成委託料			0			0	495	1,060	-565			0			0			0
	租用料			0			0			0	5,750	4,513	1,237	648	460	188	1,686	1,543	143
				0			0			0			0			0			0
	その他			0		348	-348			0		92	-92			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>6,031</b>	<b>5,592</b>	<b>439</b>	<b>6,031</b>	<b>5,720</b>	<b>311</b>	<b>22,641</b>	<b>25,324</b>	<b>-2,683</b>	<b>78,178</b>	<b>61,237</b>	<b>16,941</b>	<b>5,028</b>	<b>3,663</b>	<b>1,365</b>	<b>35,268</b>	<b>32,050</b>	<b>3,218</b>
	支出	人件費	562	621	-59	562	621	-59	20,359	19,467	892	57,130	57,727	-597			0	19,516	20,195
事務費		4,368	4,080	288	4,368	4,080	288	1,184	1,305	-121	5,529	5,247	282	1,184	1,305	-121	1,988	1,929	59
事業費		0	128	-128	0	129	-129	8	207	-199	10,403	5,394	5,009			0	3,238	1,891	1,347
管理費		0		0	0		0	0	0	0	2,126	5,036	-2,910			0	709	1,694	-985
その他				0	0	0	0	0	0	0	0	34	-34	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0			0		34	-34			0			0
消費税				0			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料				0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
その他				0			0			0			0			0			0
<b>支出合計(B)</b>	<b>4,930</b>	<b>4,829</b>	<b>101</b>	<b>4,930</b>	<b>4,830</b>	<b>100</b>	<b>21,551</b>	<b>20,979</b>	<b>572</b>	<b>75,188</b>	<b>73,438</b>	<b>1,750</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>25,451</b>	<b>25,709</b>	<b>-258</b>	
<b>収支(A)-(B)</b>	<b>1,101</b>	<b>763</b>	<b>338</b>	<b>1,101</b>	<b>890</b>	<b>211</b>	<b>1,090</b>	<b>4,345</b>	<b>-3,255</b>	<b>2,990</b>	<b>-12,201</b>	<b>15,191</b>	<b>5,028</b>	<b>3,663</b>	<b>1,365</b>	<b>9,817</b>	<b>6,341</b>	<b>3,476</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	健身操	平成24年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	① 地域の高齢者の介護予防につなげる ② 地域での顔見知りを作る	1：高齢者		概ね65歳以上の介護保険サービスを利用されていない方。講師による椅子に座って体の芯を動かせる体操。月2回。	11	155
2	スクエアステップ	平成28年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	健康寿命の延伸を目指し、概ね60歳以上の元気な方々を対象に、楽しみながら介護予防（転倒予防、認知機能向上）を目的に仲間づくりを行う。	1：高齢者		スクエアステップによる介護予防体操教室。毎月第2第4（金）に実施。	13	79
3	にこにこランド	平成18年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②同世代の子を持つ親子が地域で仲間づくりができる	3：養育者及び乳幼児		平成29年4月～平成30年3月生まれのお子さんとその保護者。リトミック教室。月3回、木曜日。前期後期制。	0	0
4	あそびのフリースペース さくらんぼひろば	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる ②養育者の地域での仲間づくり ③ボランティアを含めた世代間交流	3：養育者及び乳幼児		毎月第一木曜日 多目的ホールでの遊び場 不定期でイベント開催	6	63
5	とっぴんぱらり	H20	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進	3：養育者及び乳幼児		毎月第二金曜日（8月だけ不定期）	1	8
6	オアシス游	H15	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の元気高齢者の外出の機会の創出 ②地域で顔見知りを作る	1：高齢者		概ね70歳以上で介護保険を利用していない方のお食事会と居場所 今年度は6月、8月、10月、12月開催	0	0
7	銀のつどい	H17	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	①ボランティア活動の活性化 ②地域の高齢者の閉じこもり防止	1：高齢者		65歳以上の方対象のミニデイサービス 毎週金曜日実施 一般開放のイベントもあり。	17	326
8	防災訓練	H30	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	災害時に備え、ケアプラザ職員が役割を把握し、貴館のお客様、地域の方とともに、ケアプラザ内の防災訓練を行う。	5：地域		年2回。地域の方や登録団体の方を交えて、訓練を行う。	2	21
9	全館清掃	H23	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	①ケアプラザの貴館利用団体同士の交流 ②登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる	5：地域		年1～2回。地域の方や登録団体の方を交えて、ケアプラザをキレイにする	0	0
10	キッズフラワーアレンジメント	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり ②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる	4：子ども・青少年		小学校中学年から中学生までを対象 母の日と父の日の前日の土曜日に開催	1	4
11	東海道53次ウォーキング	H29	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①歩くことを通して、また、共通のゴールを目指すことで、参加者同士の交流を図る ②楽しんで体力づくりをする。 ③男性の地域参加を促す。	5：地域		年2回開催。地域の方に講師になって頂き宿場をめぐる。い。	0	0
12	かやのき名画座	H19	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の高齢者、特に男性の外出機会の創出 ②ケアプラザを地域の方に知ってもらう	5：地域		年2回開催。この事業にはいつも地域ケアプラザを利用する方は少し違う雰囲気の方も参加されるため、継続中。今年度は6月と10月開催予定	0	0
13	かやのき土曜コンサート	H19	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の音楽家に地域活動に関心をもってもらうきっかけを作る ②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり ③閉じこもりの防止	5：地域		奇数月の第2か第4土曜日に開催 地域の音楽活動家と地域をつなぐ意味も込めて継続中。	0	0
14	おおば夏夏フェスタ	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の子どもたちがケアプラザに来館するきっかけを作るとともに、ボランティア活動を認知してもらうきっかけづくりをする ②夏休みの小学生への余暇の提供 ③世代間交流の促進	4：子ども・青少年		7月の最終週に実施予定。 子供たちの夏休みの思い出作りや地域ケアプラザを知ってもらう意味も込めて開催。	0	0
15	面白科学で工作	H22	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり ②世代間交流の促進	4：子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 子供たちの夏休みの自由研究の一環として支援している。	0	0
16	親子でクッキング	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る ②ボランティアと小学生や養育者の世代間交流の促進 ③養育者同士の交流の輪を広げる	4：子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 地域の料理クラブあるいは、食生活改善推進員等と共催して親子の食育を含めた活動	0	0
17	親あるうちのライフデザイン	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①障がいのある方やその家族が今後についての必要な情報を得ることができる ②ほっぷについて、地域へ周知する	5：地域		障がいのある当事者や家族が困っていることに寄り添うための支援 不定期開催	0	0
18	ほっとサロン青葉出前サロン	R1	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	精神に障害をお持ちの方や、メンタルヘルスに困っている方々の、身近な地域の居場所になれるように、ほっとサロン青葉が主催となり、共済事業として、カフェを開いていく。	2：障害児・者		年3回程度開催 精神の病気を持つ方々を理解していくために、また地域での身近な居場所になれるための活動	0	0
19	かやのき祭り	H15	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	① 地域ケアプラザの地域へのPR ② 世代間交流の促進 ③ 地域活動団体を知ってもらう機会とする	5：地域		年1回、11月第3日曜日に開催。 地域の方と共同して、ケアプラザを周知し、地域の様々な活動もアピールする	0	0
20	葉書絵（年賀状）	H18	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が共通の趣味活動を通して、地域での仲間づくりができる	1：高齢者		年1回開催。 地域の方と年々の葉書絵を作ることで趣味活動の充実と交流を図る	0	0
21	人形劇公演	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	① 世代間の理解の促進 ② 子育て中の方が外出し、リフレッシュできる	3：養育者及び乳幼児		年1回開催。 子供と養育者が一緒に楽しめる場の提供を軸に継続している。	0	0
22	WITH クリスマス会	H26	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知 ②地域の子育て中の方のリフレッシュ ③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り	3：養育者及び乳幼児		年1回、12月に開催。 子育て広場とコラボレーションして、地域の方々と様々な接点をもつ貴重な機会となっている。	0	0
23	小中学生 書初め		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①世代間交流の促進 ②若い世代にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり	4：子ども・青少年		年1回、1月に開催。 地域のクラブサークル「書遊会」の方と協力して多世代交流の場としている。	0	0



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
24	干支の折り紙		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	① 地域のボランティアの方に講師を依頼することにより、地域の方に地域活動団体を知ってもらう切っ掛けを作る ② 地域の高齢者の外出する機会作り	1：高齢者		年1回開催。 地域のボランティアの方と地域の方が楽しみながら活動する機会を作っている。	0	0

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	ボランティア交流会		7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	①ボランティア同士の交流の促進 ②ボランティアに学びの機会を作り、スキルアップを図る	5：地域		年1回開催。 大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会	0	0
26	幼児安全法		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①子育て支援ボランティアが救急時に必要な対応を身につける ②子育て中の方が、救急時の対応を学ぶことにより、育児不安の軽減につなげる ③子育て中の方の交流の促進	3：養育者及び乳幼児		年1回開催 子育てひろばWITHと赤十字との共催により行う子育て中の親子の学びの講座	0	0
27	にこにこランド プレ		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①同世代の子を持つ保護者同士の交流のきっかけづくりを目的としたにこにこランドへの参加につながる ②体験を通すことで、子育て中の方に事業を知ってもらうきっかけを作る	3：養育者及び乳幼児		年1回3月に開催 定例事業「にこにこランド」を知ってもらうためのプレイベント。	0	0
28	郷土料理をつくろう	H19	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	お互い支え合い安心して暮らせる町を目指し、中里地区での子育て中の保護者同士の交流を目的とし、地元の方を講師に招き皆で料理を作りおしゃべりする。	5：地域		年に2回開催。10年継続している地域の方と中里地区社協との地福計画に基づいた事業。	0	0
29	認知症サポーター養成講座	H20	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域を対象に認知症への理解につながる講座を実施することで、地域ぐるみで認知症の方を支えることができるようになる。	5：地域		認知症サポーター養成講座の実施	2	281
30	包括カンファレンス	H18	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ。関係者間の連携強化。	6：事業者		地域のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供等を行う。民生委員や医療との連携の場を設ける。隔月開催	3	16
31	新任ケアマネジャー研修	H18	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	新任ケアマネジャーの育成、連携強化。	6：事業者		区内の新任ケアマネジャーに区内の地域包括（主マホ）合同でオリエンテーションや研修を行う。後期に月1回程度開催予定。	3	17
32	介護者のつどい	H18	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者同士が意見交換することにより、介護現場で役に立つ情報を相互に得ることができる。	5：地域		介護者の情報交換の集い。 毎月第4水曜日10時～11時半開催予定。	8	49
33	休日のつどい	R2	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	仕事をしている介護者でも参加しやすいよう休日に開催。介護者同士が意見交換することにより、介護現場で役に立つ情報を相互に得ることができる。	5：地域		介護者の情報交換の集い。 6月、10月、1月の三回を予定。	0	0
34	大場あしん講座	H20	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域での認知症への理解を深めるサポーターを増やし、認知症の人や家族を応援していく。今後の生活に必要な基礎知識を周知し、生活に役立てていただく。	1：高齢者		認知症サポーター養成講座の実施。 権利擁護講座実施。 開催日未定。	0	0
35	エンディングノート書き方講座	H29	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	青葉区版エンディングノートの書き方講座を区役所を含め全ケアプラザで区民向けに計画的に実施し、普及啓発を図る。	5：地域		エンディングノートの書き方について学ぶ。 日程等は区内CPの打ち合わせにて決定予定 ボランティアとは？（特技や趣味を生かした取り組みの紹介や活動中のボランティア団体の紹介） 開催日未定	0	0
36	ボランティア養成講座	R2	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域活動を始めたい人が実際の活動に繋がるためのキッカケづくり。また、地福計画にある『担い手の発掘から育成の手法の定着』を目指す	5：地域		取組みの紹介や活動中のボランティア団体の紹介 開催日未定	0	0
37	山内地区センターで行う居場所づくり『ヤマリンのへや』	R1	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	小学生が集まりやすい地区センターで行うことで、子ども～高齢者まで多世代が交流できる場づくりならびに高齢者が特技を活かし、小学生は、高齢者と接することができる場を目指す。山内地区地福計画の標2に準ずる事業	5：地域		昔遊びや編み物などを通じた交流 5月、7月、10月、1月 山内地区センターにて	0	0
38	山内地区共催事業『みんなで脳活レク』	H26	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	①山内地区センターの利用者に地域ケアプラザの事を知る機会を作る ②山内地区に愛着を持つキッカケづくり ③山内地区在住の高齢者の居場所づくり ④山内地区社会福祉協議会との連携 山内地区地福計画目標3に準ずる事業	1：高齢者		身体を使った脳活レクの実施 9/18(金) 山内地区センターにて	0	0
39	シニアボランティアポイント研修	H29	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①65歳以上の方に向けた担い手づくり ②地域活動を始めのキッカケづくり ③活動団体の担い手支援 地福計画に準ずる事業	1：高齢者		シニアボランティアポイント研修 シニアボランティアポイント受入れ施設の紹介 5月11(月)、7月4日(土) その他必要に応じて開催	0	0
40	Vo×CM×地区社協 情報交換会	R1	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	①互いの持っている情報を知って、双方の活動のヒントにしてもらう ②地区社協が地域ニーズを聞いて既存の活動や新たな活動のヒントにしてもらう	5：地域		3者による意見交換会 11月頃	0	0
41	認知症カフェかやのき	H29	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	・認知症ご本人や家族が安心して参加でき、必要に応じて相談ができ、地域の方、専門職、ボランティアなど様々な人が認知症についての情報交換ができる定期的な場づくり。 ・認知症サポーターの活躍の場づくり	5：地域		ゲストスピーカーとカフェタイム 毎月第1木曜日	4	41
42	生活支援事業所見本市	R2	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	(1)生活支援体制整備事業の一環として、生活支援サービス事業所の業務内容、特徴等について、ケアマネジャーや民生委員、ボランティアなど“つなぐ”立場にある方知ってもらい、高齢者支援に役立ててもらおう。 (2)生活支援サービス事業所と直接話す機会をつくる。	6：事業者	5：地域	生活支援事業所の見本市をケアマネジャー、地域住民に向けて実施 実施日未定	0	0
43	はつらつ体力チェック	H22	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	①地域の高齢者が客観的なデータに基づき自身の体力を知ることと今後の健康づくり、体力づくりへの意欲を高め継続することで健康寿命を延ばす。 ②地域の様々な介護予防講座への参加に繋がる。	1：高齢者		高齢者を対象とした体力測定会 1回目は6月頃、2回目は12月頃開催予定	0	0
44	はつらつ体力チェック結果説明会+Q&A健康講座	H22	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	①地域の高齢者が客観的なデータに基づき自身の体力を知ることと今後の健康づくり、体力づくりへの意欲を高め継続することで健康寿命を延ばす。 ②地域の様々な介護予防講座への参加に繋がる。	1：高齢者		体力チェックの結果説明会 1回目は7月頃、2回目は1月頃開催予定	0	0

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
45	はつらつ体力チェックサポーター打ち合わせ	H29	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	①社会的役割を担うことで介護予防に繋げる。 ②地域の担い手となり、今後体力チェックの運営ができるようになる。	1：高齢者		体力測定会についての説明や測定機械の使い方、実践等 秋頃に開催予定	1	16
46	あおばイキイキ!!元気塾	H23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の方々にとっても元気でいきいきと生活していただき、介護予防に関する知識を広く普及啓発することを図る。参加者が継続して活動できる場づくりにつなげることを目指す。昨年ウォーキング講座を開催した際関心が高い方が多いと感じたことから、ウォーキングに着目した介護予防の普及啓発を行う。	1：高齢者		ウォーキングを行うために必要な身体づくり、食事、口腔ケアについて。ハマトレを準備体操として取り入れ普及につなげる。仲間と楽しく介護予防を継続して行うことの大切さについて。 6～7月頃に開催予定であったが新型コロナウイルスの影響で10～11月へ延期	6	67
47	ポッチャを始めませんか？	H30年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	・自主グループ【ポッチャ大場クラブ】がコロナ禍でも、感染症対策をした上で活動ができる方法を学ぶ。（1年間限定の団体支援）	1：高齢者		ポッチャの実施 9月から再開 第3土曜日10：15～12：00 ケアプラザ 第4水曜日10：15～12：00 地区センター	4	50
48	「浮世絵から見る東海道五拾参次の旅の魅力」講座	H30年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	・事業「東海道五拾参次ウォーキング」に昨年まで継続して参加していた方同士の繋がりがづくり	1：高齢者	5	コロナ禍の収束後に歩く予定のコースを浮世絵で学ぶ 12/5実施	1	15
49	もっと知りたい！ハマトレ	R2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	①ハマトレの内容とその効果を知り、生活の中に取り入れることができる。 ②ハマトレを継続して行う大切さを知ることができる。	1：高齢者		内容：ハマトレについての講義、実技 時期：12月16日、1月13日、1月20日 →新型コロナウイルスの影響で1月分は3月へ延期	3	37
50	元気が出る体操講座	R2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・高齢者が虚弱になっても楽しみながら参加できる活動がある地域を目指す。（通いの場に参加している高齢者が虚弱になっても継続して通うことができる）	1：高齢者		内容：高齢者の運動指導に関する講話及び実技指導（高齢者の身体的特徴について、虚弱な高齢者及び膝痛のある高齢者に対する運動指導と留意点についてなど） 時期：12月17日	1	19